

Ⅲ ソーシャル・キャピタルの醸成に関わるもの

ソーシャル・キャピタルの要素に関わる問いについて、醸成に影響を与えている要因がないかを分析した。

1 年代別との相関性

パットナムによるとネットワークでは家族や親族を超えた幅広い「弱い紐帯」を重視し、その中でも特に「直接顔を合わせるネットワーク」が核であるとしている。信頼では、「知っている人に対する厚い信頼」と「知らない人に対する薄い信頼」があるが、「薄い信頼」の方がより広い協調行動を促進することにつながり、ソーシャル・キャピタルの形成に役立つとしている。互酬性（相互依存的な互いの利益交換）の規範意識では、同等価値のものを同時に与え合う「均衡の取れた互酬性」と、現時点では不均衡でも将来均衡がとれるとの期待を元にした交換の持続的関係である「一般化された互酬性」があり、一般化された互酬性は短期的には相手の利益になることが多いが、長期的には当事者全員の効用を高めることにつながるとしている。

これらのことを踏まえ、本調査での以下の問いを取り上げて、相関性をみていくこととした。なお、互酬性の規範意識については、以下、「社会参加」と表現する。

- ・ネットワーク…問 1(2)地域の人とのつながり、問 1(3)地域の人との面識・交流、問 1(4)友人・知人との付き合い・交流
- ・信頼…問 2(1)地域の人への信頼、問 2(2)一般的な人への信頼
- ・社会参加（互酬性の規範意識）
 - …問 3(1)a 地縁的な活動への参加、b グループ・サークル活動への参加、c ボランティア・NPO・市民活動への参加

(1) 相関表から

相関表 I (年齢)

【表 50】

	問 1(2) 地域の人と の付き合い	問 1(3) 地域の人と の面識・交 流	問 1(4) 友人・知人 との付き合い・交流	問 2(1) 地域の人 への信頼	問 2(2) 一般的な 人への信 頼	問 3(1)a 地縁的な 活動	問 3(1)b グループ やサーク ル活動	問 3(1)c ボランティ ア・NPO・ 市民活動
問 5(2) Pearson の相関係数	.356**	.257**	-.105**	.131**	.171**	.372**	.356**	.139**
年代 有意確率 (両側)	.000	.000	.002	.000	.000	.000	.000	.000
(年齢) 度数	851	851	854	846	845	839	840	832

**：相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

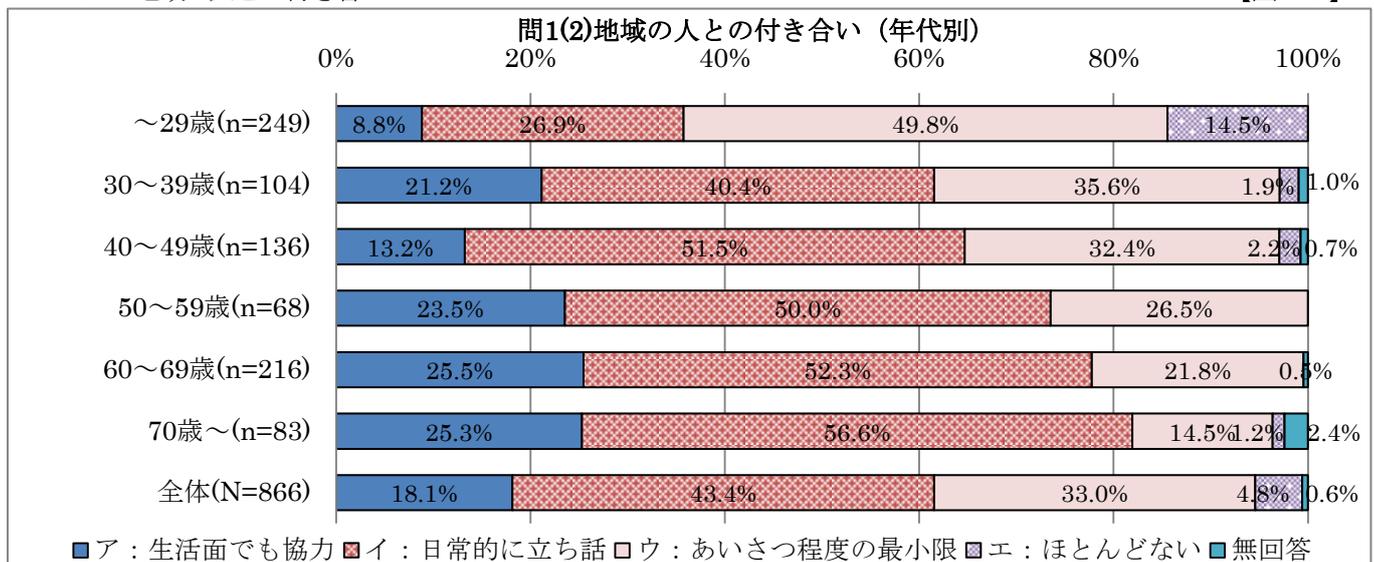
Pearson の相関係数から見ると、問 3(1)a との相関性が認められ、問 1(2)、問 3(1)b にも相関性がうかがえる。また問 1(3)にも相関性があるものと思われる。

(2) クロス集計から

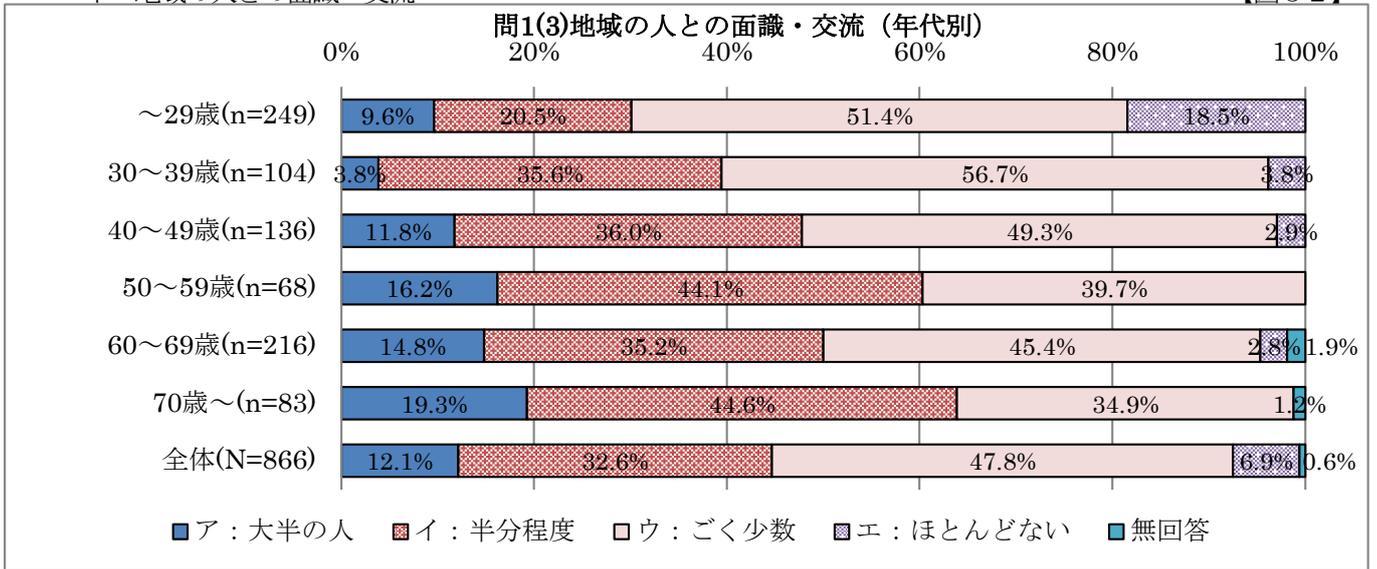
① ネットワーク

ア 地域の人との付き合い

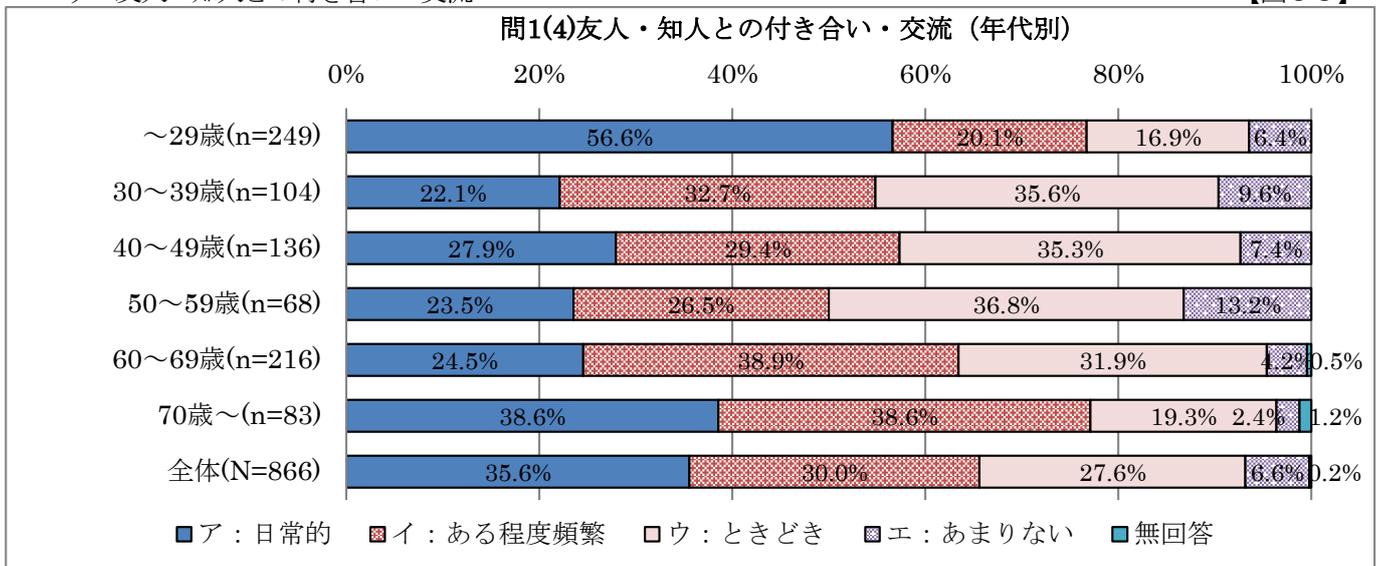
【図 51】



付き合いが深いと思われる「生活面でも協力」「日常的に立ち話」と回答した人の割合の合計では、年代が高くなるにつれて割合も高くなり、70歳以上が81.9%に上る。「ほとんどない」の割合は、29歳以下が最も高く、14.5%であった。



「大半の人」と「半分程度」と回答した人の割合の合計では、70歳以上が63.9%でもっとも高く、50～59歳が60.3%で続く。60～69歳が50.0%で前後の年代よりも落ち込むが、全体的には年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向が見られる。「ほとんどない」は29歳以下の18.5%が他の年代よりも高い割合である。

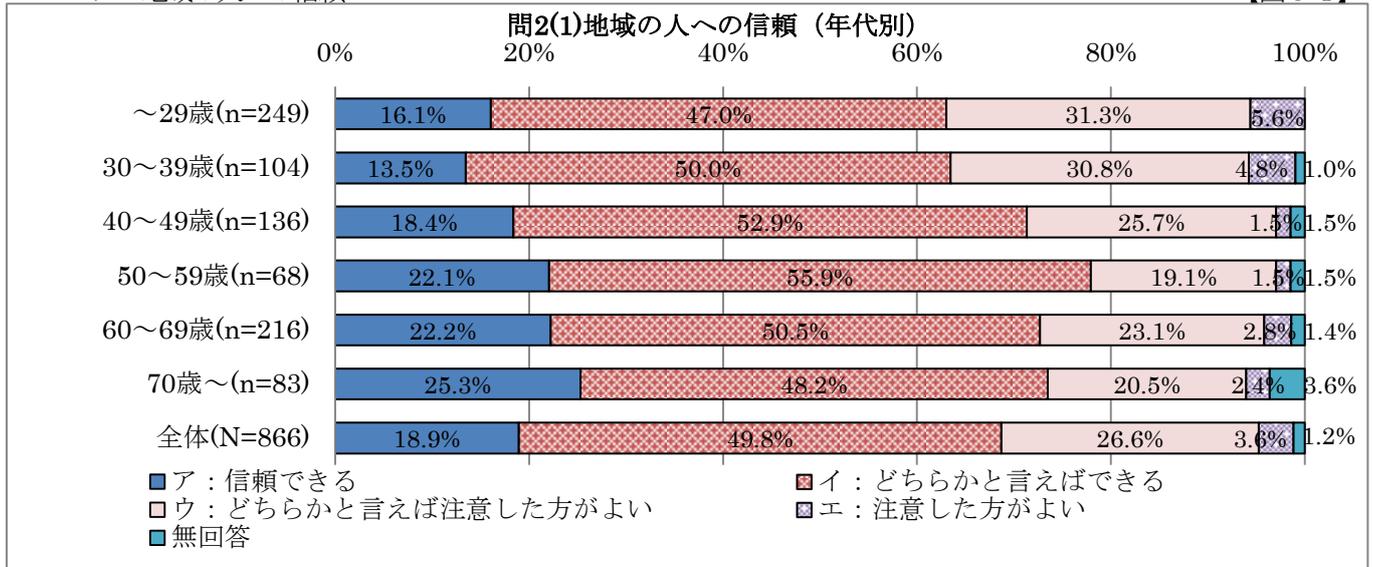


「日常的」または「ある程度頻繁」に友人・知人との付き合い・交流があると回答した人の割合が最も高かったのは、70歳以上の77.2%である。29歳以下の76.7%が続く。「あまりない」は50～59歳が13.2%で最も高い。

② 信頼

ア 地域の人への信頼

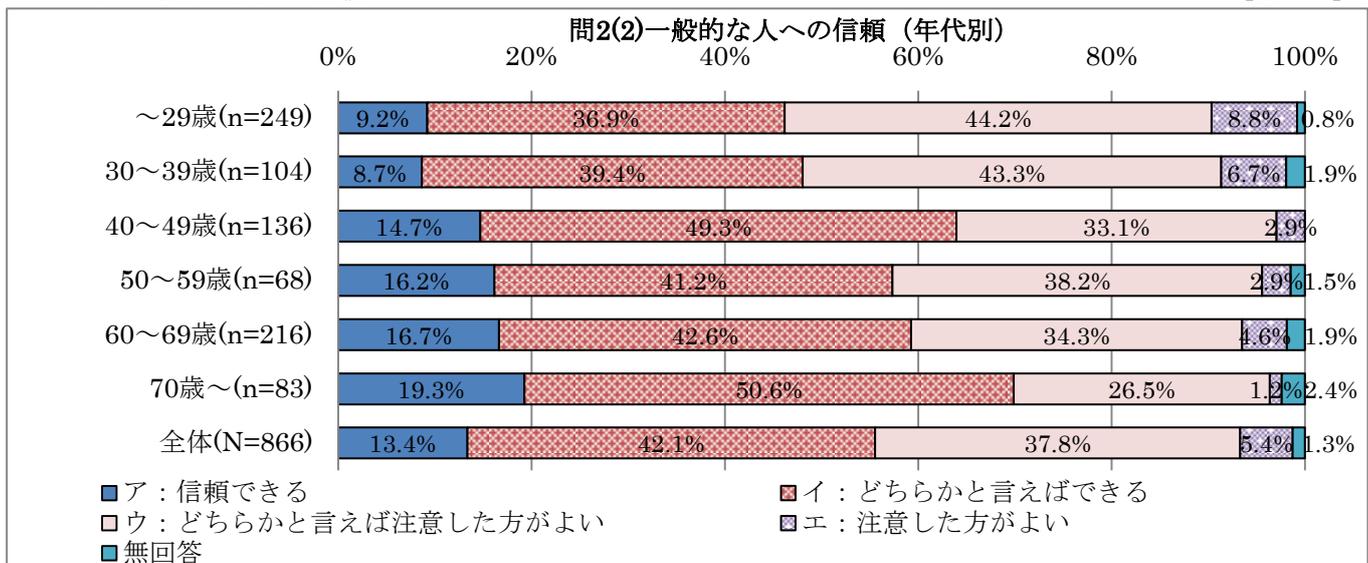
【図54】



「信頼できる」と回答した人の割合では、70歳以上が25.3%で最も高い。「信頼できる」「どちらかと言えばできる」の割合の合計では、50～59歳が78.0%で最も高い。「信頼できる」の29歳以下、「信頼できる」「どちらかと言えばできる」の割合の合計での50～59歳等、あてはまらない年代も見られるが、全体的には年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向が見られる。

イ 一般的な人への信頼

【図55】

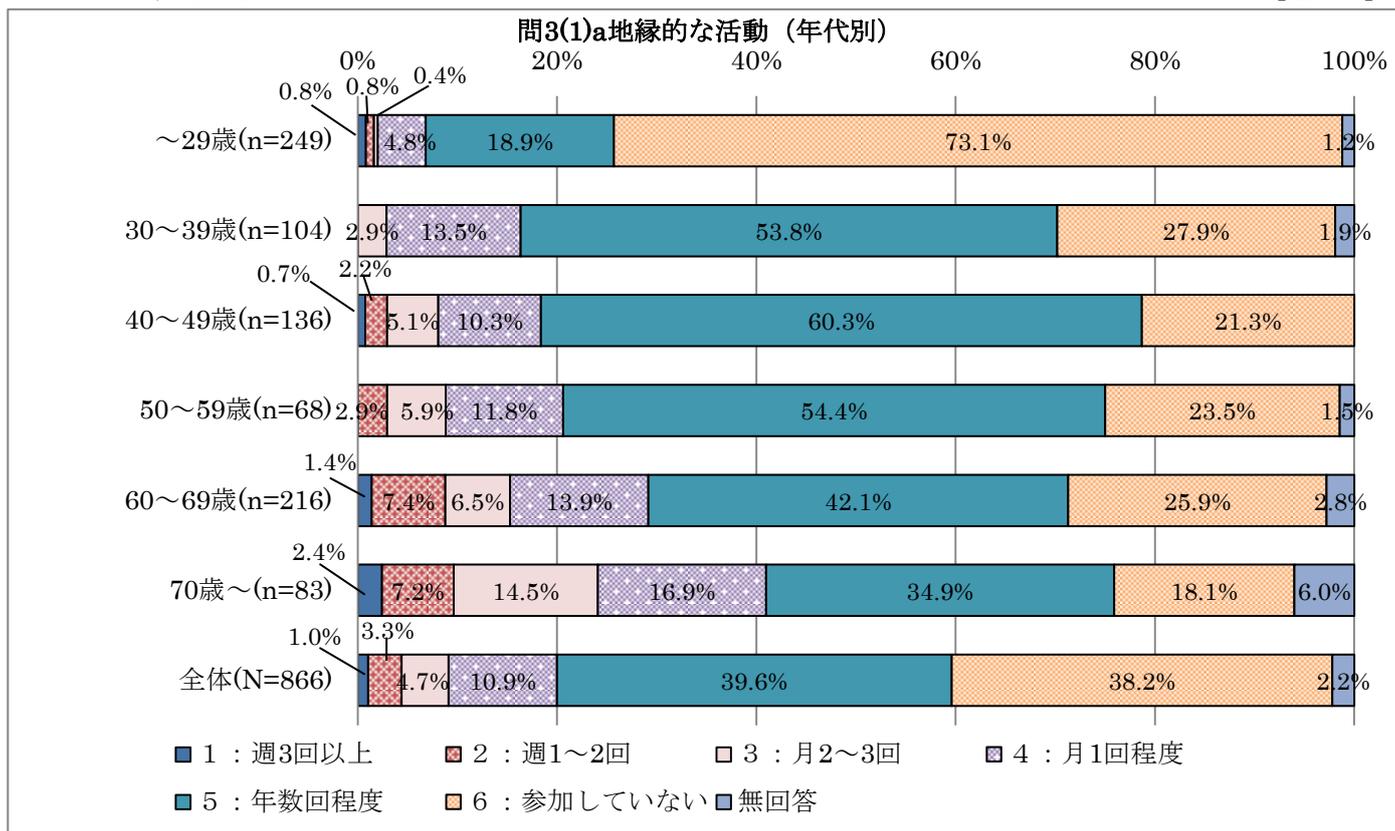


「信頼できる」と回答した人の割合では、70歳以上が19.3%で最も高い。「信頼できる」「どちらかと言えばできる」の割合の合計では、70歳以上69.9%が最も高く、40～49歳64.0%が続く。「信頼できる」の29歳以下、「信頼できる」「どちらかと言えばできる」の割合の合計での40～49歳等、あてはまらない年代も見られるが、全体的には年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向が見られる。

③ 社会参加

ア 地縁的な活動

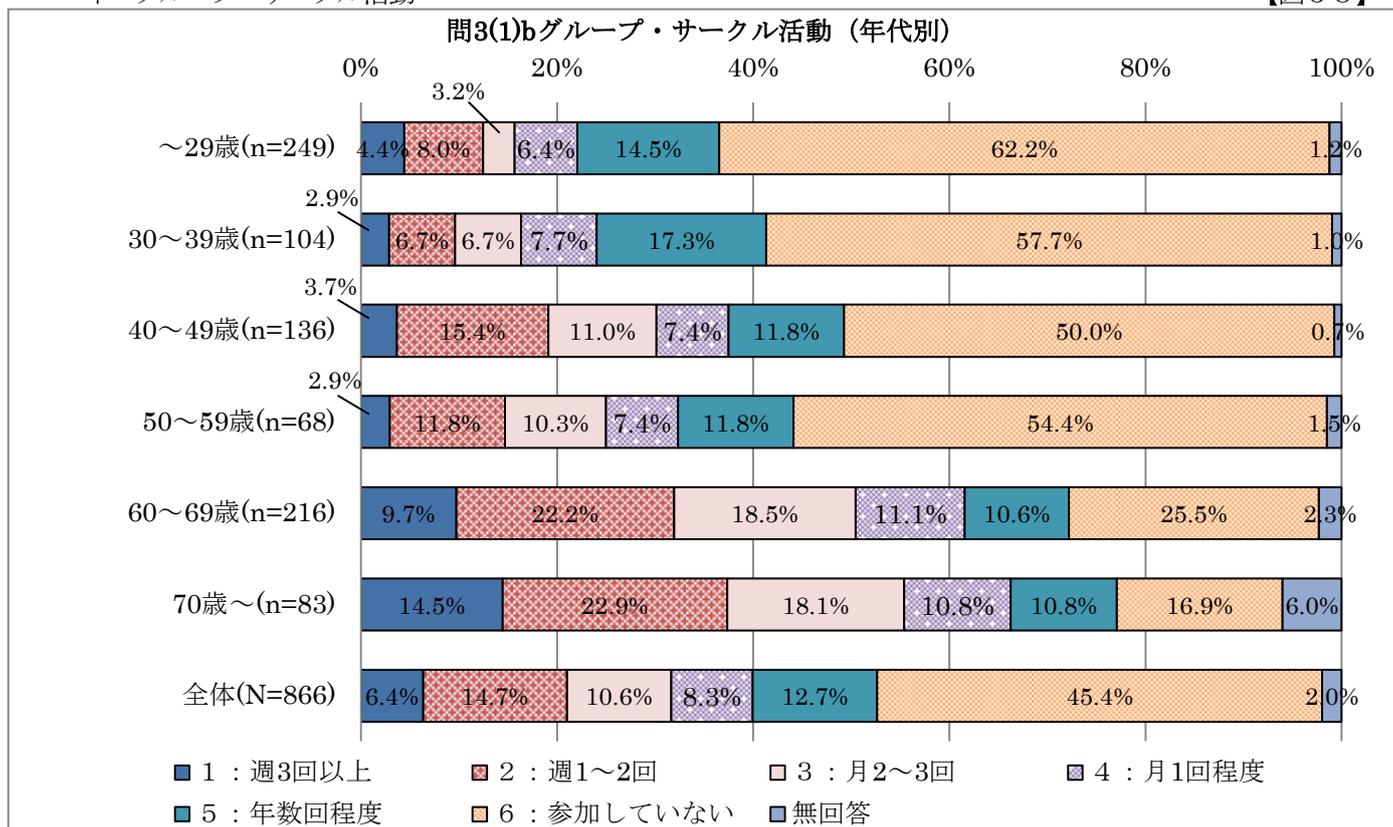
【図56】



【表57】

	週3回以上	週1~2回	月2~3回	月1回程度	年数回程度	参加していない	無回答
~29歳(n=249)	0.8%	0.8%	0.4%	4.8%	18.9%	73.1%	1.2%
30~39歳(n=104)	0.0%	0.0%	2.9%	13.5%	53.8%	27.9%	1.9%
40~49歳(n=136)	0.7%	2.2%	5.1%	10.3%	60.3%	21.3%	0.0%
50~59歳(n=68)	0.0%	2.9%	5.9%	11.8%	54.4%	23.5%	1.5%
60~69歳(n=216)	1.4%	7.4%	6.5%	13.9%	42.1%	25.9%	2.8%
70歳~(n=83)	2.4%	7.2%	14.5%	16.9%	34.9%	18.1%	6.0%
全体(N=866)	1.0%	3.3%	4.7%	10.9%	39.6%	38.2%	2.2%

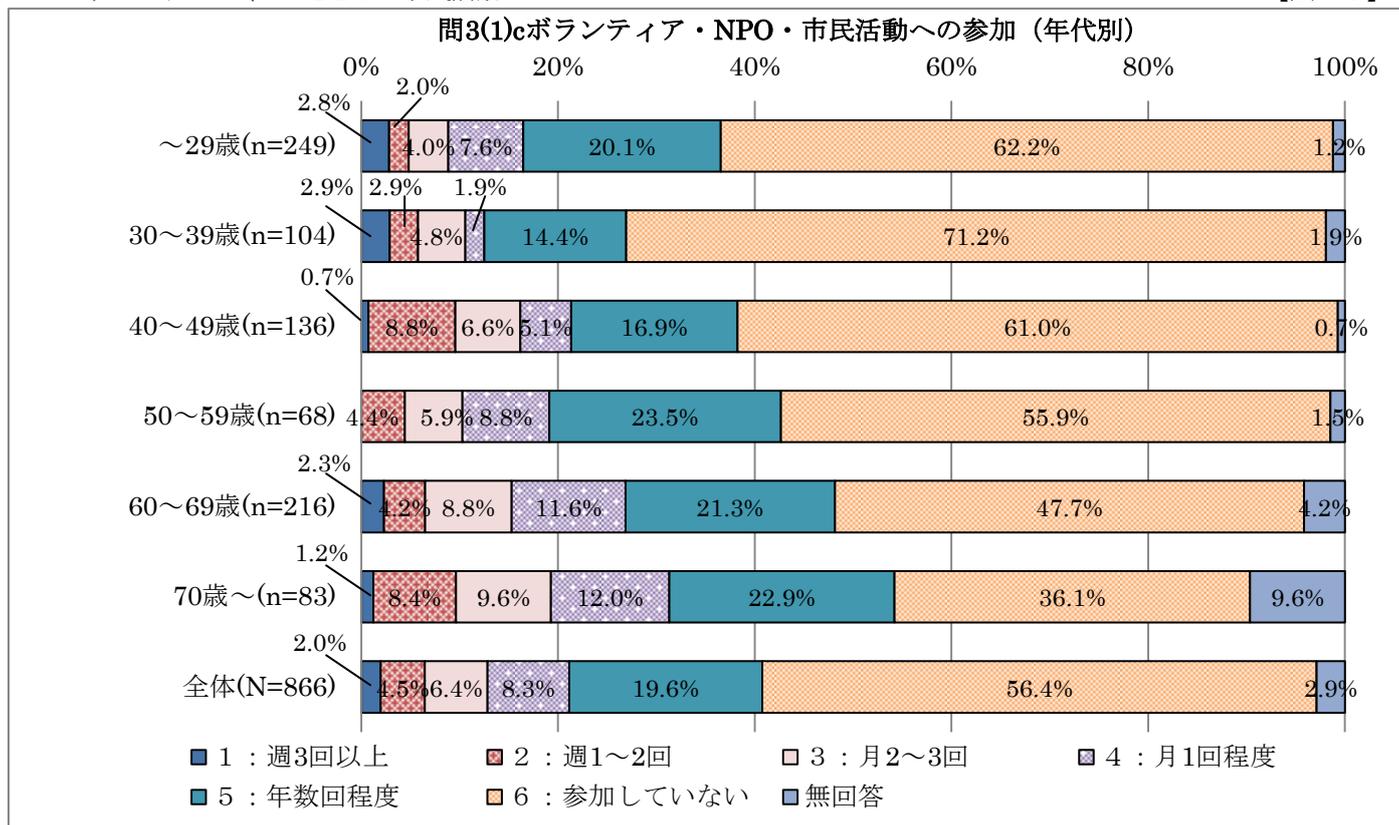
地縁的な活動に参加していると回答した人の割合（1：週3回以上～5：年数回程度の合計）を見ると、40～49歳が78.0%で最も高い。月1回以上（1：週3回以上～4：月1回程度）参加していると回答している割合は、年代が高くなるにつれて割合も高くなり、70歳以上は41.0%である。



【表59】

	週3回以上	週1~2回	月2~3回	月1回程度	年数回程度	参加していない	無回答
~29歳(n=249)	4.4%	8.0%	3.2%	6.4%	14.5%	62.2%	1.2%
30~39歳(n=104)	2.9%	6.7%	6.7%	7.7%	17.3%	57.7%	1.0%
40~49歳(n=136)	3.7%	15.4%	11.0%	7.4%	11.8%	50.0%	0.7%
50~59歳(n=68)	2.9%	11.8%	10.3%	7.4%	11.8%	54.4%	1.5%
60~69歳(n=216)	9.7%	22.2%	18.5%	11.1%	10.6%	25.5%	2.3%
70歳~(n=83)	14.5%	22.9%	18.1%	10.8%	10.8%	16.9%	6.0%
全体(N=866)	6.4%	14.7%	10.6%	8.3%	12.7%	45.4%	2.0%

グループ・サークル活動に参加していると回答した人の割合（1：週3回以上～5：年数回程度の合計）は、50～59歳が前後の年代よりも若干落ち込むが、全体的には年代が高くなるにつれて割合も高くなり、70歳以上が77.1%で最も高くなる。



【表61】

	週3回以上	週1~2回	月2~3回	月1回程度	年数回程度	参加していない	無回答
～29歳(n=249)	2.8%	2.0%	4.0%	7.6%	20.1%	62.2%	1.2%
30～39歳(n=104)	2.9%	2.9%	4.8%	1.9%	14.4%	71.2%	1.9%
40～49歳(n=136)	0.7%	8.8%	6.6%	5.1%	16.9%	61.0%	0.7%
50～59歳(n=68)	0.0%	4.4%	5.9%	8.8%	23.5%	55.9%	1.5%
60～69歳(n=216)	2.3%	4.2%	8.8%	11.6%	21.3%	47.7%	4.2%
70歳～(n=83)	1.2%	8.4%	9.6%	12.0%	22.9%	36.1%	9.6%
全体(N=866)	2.0%	4.5%	6.4%	8.3%	19.6%	56.4%	2.9%

ボランティア・NPO・市民活動に参加している（1：週3回以上～5：年数回程度の合計）と回答した割合は、70歳以上が54.2%で最も高い。